

(3) 長崎県農林技術開発センター

ながさき黄金 (ばれいしょ「西海37号」)

1. 来歴

地方番号	長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
西海37号	長系132号	愛系151	T04051-14	西海35号×西海33号

2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で4日早く、秋作では10日早い。茎長は春秋作とも「ニシユタカ」より長く、熟性は中晩生である。皮色、肉色とも黄色、でん粉価は春作・秋作とも14%前後で高い。上いも重は春作で343kg/a、秋作で229kg/aと少収である。上いも平均重は春作・秋作ともに79gとMサイズが中心となる。機能性成分であるカロテノイドを含み肉色は黄色で、蒸しいもはやや粉質で、ナッツフレーバーを有し、食味は良い。フレンチフライおよびチルド適性がある。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルスに抵抗性を有し、青枯病に強い病虫害複合抵抗性系統である。

表1 生育・収量調査成績(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 ¹⁾	品種系統名	出芽期 (月・日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	上いも 平均 重(g)	上いも重		規格別割合(%) ²⁾					でん 粉価 (%)	腐敗 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S		
春作	ながさき黄金	3.14	49	1.7	中晩生	7.0	79	343	86	1	12	35	38	13	14.1	5.0
	ニシユタカ	3.18	41	1.6	中晩生	4.8	131	397	100	20	38	25	13	3	10.9	0.3
秋作	ながさき黄金	9.25	50	2.1	中晩生	4.6	79	229	96	0	3	17	43	37	13.7	1.1
	ニシユタカ	10.05	39	2.1	中晩生	3.3	114	238	100	8	19	30	29	15	9.9	0.4

注1) 春作マルチ栽培：平成19～28年の平均値、秋作普通栽培：平成18～28年の平均値

2) 春作：3L：220g以上、2L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g
秋作：3L：260g以上、2L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種系統名	ストロン	塊茎				裂開	二次	蒸しいも		
		の長さ	皮色	形	目の 深淺	表皮の ネット	(%)	生長(%)	肉色	肉質	食味
春作	ながさき黄金	中	黄	短卵	浅	微	0.0	0.8	黄	やや粉～粉	良
	ニシユタカ	やや短	淡ページュ	短卵～円	やや浅	少	0.3	1.2	淡黄	中	やや否
秋作	ながさき黄金	やや短	黄	短卵～円	浅	微	0.1	0.6	黄	やや粉～粉	良～やや量
	ニシユタカ	短	淡ページュ	円～短卵	やや浅	少	0.5	2.0	淡黄	中	やや否

表3 病虫害抵抗性

品種系統名	ジャガイモ		そうか病	青枯病	疫病	ジャガイモYウイルス	
	シストセンチュウ					0系統	N系統
ながさき黄金	抵抗性		中～やや弱	強	やや弱	抵抗性	抵抗性
ニシユタカ	感受性		弱	中	弱～やや弱	感受性	感受性

注1)、5) (地独)道総研による判定結果

2)、3) 馬鈴薯研究室による判定結果

4) 馬鈴薯研究室における2007～2016年のデータによる判定結果

ばれいしょ「西海40号」

1. 来歴

地方番号	長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
西海40号	長系139号	愛系186	T07011-12	愛系158×アイユタカ

2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作で5日早く、秋作では6日早い。茎長は春秋作とも「ニシユタカ」と同程度、熟性は中晩生である。皮色は淡ベージュで、肉色は淡黄、でん粉価は春作で11.4%、秋作では9.4%でやや低い。秋作では裂開の発生がみられる。上いも重は春作で406kg/a、秋作で354kg/aと多収であり、上いも平均重は春作・秋作とも135g程度と大きい。蒸しいもの肉質は中～やや粘で、食味は中である。

ジャガイモシストセンチュウ、ジャガイモYウイルスおよびジャガイモXウイルスに抵抗性を有し、青枯病に対しても中程度の抵抗性を有する。貯蔵中の腐敗も少ない。

表1 生育・収量調査成績（長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室）

作型 1)	品種系統名	出芽期 (月・日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	上いも 平均重 (g)	上いも重		規格別割合(%) ²⁾					でん 粉価 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S	
春作	西海40号	3.16	44	2.1	中晩生	4.8	133	406	107	24	37	24	11	3	11.4
	ニシユタカ	3.21	41	1.6	中晩生	4.8	125	379	100	18	37	27	15	4	10.9
秋作	西海40号	9.28	48	2.5	中晩生	4.0	137	354	132	14	29	29	19	9	9.4
	ニシユタカ	10.04	45	2.2	中晩生	3.7	109	268	100	9	17	30	28	16	9.6

注1) 春作：平成22～28年の平均値、秋作：平成22～28年の平均値

2) 春作：3L：220g以上、2L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g

秋作：3L：260g以上、2L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果（長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室）

作型	品種 系統名	ストロン の長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	蒸しいも		
									肉色	肉質	食味
春作	西海40号	中	淡ベージュ	短卵～円	浅	微	0.7	0.6	明黄～淡黄	中	中
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	短卵～円	やや浅	少	0.5	1.0	淡黄	中	やや否
秋作	西海40号	やや短	淡ベージュ	円～短卵	浅	微	2.7	0.0	明黄～淡黄	やや粘～中	中
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	短卵～円	浅～やや浅	少	1.1	0.3	淡黄	中～やや粘	やや否

表3 病虫害抵抗性

品種系統名	ジャガイモ シストセンチュウ ¹⁾		青枯病 ³⁾	疫病 ⁴⁾	ジャガイモYウイルス ⁵⁾		ジャガイモ Xウイルス ⁶⁾
	そうか病 ²⁾				0系統	N系統	
西海40号	抵抗性	やや弱	やや弱	やや弱～弱	抵抗性	抵抗性	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	中	やや弱～弱	感受性	感受性	感受性

注1), 5) (地独)道総研による判定結果

2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果

6) DNAマーカーにより判定

ばれいしょ「長系155号」

1. 来歴

長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
長系155号	愛系245	T12029-17	アイマサリ×長系142号

2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作・秋作とも13日早い。茎長は春作・秋作とも「ニシユタカ」よりやや長く、熟性は中晩生である。皮色は淡ベージュ、肉色は淡黄～明黄、でん粉価は春作・秋作とも10%程度と低い。秋作では年により裂開の発生がみられる。上いも重は春作で407kg/a、秋作で310kg/aと多収であり、上いも平均重は春作で162g、秋作で149gと大きい。蒸しいもの肉質は中～やや粘で、食味は中～やや否である。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルスおよびジャガイモXウイルスに抵抗性を有する。

表1 生育・収量調査成績(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型 1)	品種 系統名	出芽期 (月・日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	上いも 平均重 (g)	上いも重		規格別割合(%) ²⁾					でん 粉価 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S	
春作	長系155号	3.15	54	2.0	中晩生	3.7	162	407	133	47	29	14	8	3	10.1
	ニシユタカ	3.28	47	1.7	中晩生	4.2	109	305	100	14	33	29	18	6	9.8
秋作	長系155号	9.22	45	2.7	中晩生	3.1	149	310	165	25	28	22	18	7	9.6
	ニシユタカ	10.05	37	2.1	中晩生	2.7	112	207	100	8	22	32	23	16	9.9

注1) 春作：平成27～29年、秋作：平成27～29年の平均値

2) 春作：3L：220g以上、2L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g

秋作：3L：260g以上、2L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果(長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室)

作型	品種 系統名	ストロン の長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	蒸しいも		
									肉色	肉質	食味
春作	長系155号	中～やや長	淡黄 [△] -ベージュ	円～短卵	浅	中	0.4	0.9	淡黄～明黄	中	中～やや否
	ニシユタカ	中～やや短	淡ベージュ	円～短卵	浅	少～中	0.1	2.2	淡黄～明黄	やや粘～中	やや否
秋作	長系155号	やや短	淡黄 [△] -ベージュ	円～短卵	浅	中	6.9	0.7	淡黄～明黄	やや粘	中
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	円	浅	少～中	0.1	0.5	淡黄	中～やや粘	やや否

表3 病虫害抵抗性

品種系統名	ジャガイモ				ジャガイモYウイルス ⁵⁾		ジャガイモ
	シストセンチュウ ¹⁾	そうか病 ²⁾	青枯病 ³⁾	疫病 ⁴⁾	0系統	N系統	Xウイルス ⁶⁾
長系155号	抵抗性	やや弱	弱	弱	抵抗性	抵抗性	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	やや弱	弱	感受性	感受性	感受性

注1), 5) (地独)道総研による判定結果

2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果

6) DNAマーカーにより判定

ばれいしょ「長系158号」

1. 来歴

長系番号	愛系番号	系統番号	交配組合せ(♀×♂)
長系158号	愛系250	T12105-16	アイマサリ×長系147号

2. 特性の概要

出芽期は「ニシユタカ」に比べ、春作・秋作とも10日程度早い。茎長は春作・秋作とも「ニシユタカ」よりやや長く、熟性は中生～中晩生である。皮色は淡ベージュ、肉色は明黄～淡黄、でん粉価は春作で10.8%、秋作で9.9%である。上いも重は春作で410kg/a、秋作で271kg/aと多収であり、上いも平均重は春作で132g、秋作で144gと「ニシユタカ」より大きい。蒸しいもの肉質は中～やや粘で、食味は中～やや否である。

ジャガイモシストセンチュウおよびジャガイモYウイルスに抵抗性を有する。

表1 生育・収量調査成績（長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室）

作型 1)	品種 系統名	出芽期 (月・日)	茎長 (cm)	茎数 (本)	熟性	上いも 数(個)	上いも 平均重 (g)	上いも重		規格別割合(%) ²⁾					でん 粉価 (%)
								(kg/a)	標準比	3L	2L	L	M	S	
春作	長系158号	3.17	54	1.9	中生	4.6	132	410	142	26	34	24	12	4	10.8
	ニシユタカ	3.28	47	1.7	中晩生	4.2	109	305	100	14	33	29	18	6	9.8
秋作	長系158号	9.25	46	1.8	中晩生	2.8	144	271	131	19	26	29	19	6	9.9
	ニシユタカ	10.05	37	2.1	中晩生	2.7	112	207	100	8	22	32	23	16	9.9

注1) 春作：平成27～29年、秋作：平成27～29年の平均値

2) 春作：3L：220g以上、2L：220～140g、L：140～90g、M：90～50g、S：50～30g

秋作：3L：260g以上、2L：260～180g、L：180～120g、M：120～70g、S：70～40g

表2 塊茎特性および食味試験結果（長崎県農林技術開発センター 馬鈴薯研究室）

作型	品種 系統名	ストロン の長さ	皮色	いも形	目の 深淺	表皮 ネット	裂開 (%)	二次 生長(%)	蒸しいも		
									肉色	肉質	食味
春作	長系158号	中～やや長	淡ベージュ	円～短卵	やや浅	微～少	0.2	0.5	明黄	中	中～やや否
	ニシユタカ	中～やや短	淡ベージュ	円～短卵	浅	少～中	0.1	2.2	淡黄～明黄	やや粘～中	やや否
秋作	長系158号	やや短	淡ベージュ	円～短卵	浅	微～少	0.0	0.4	淡黄～明黄	中～やや粘	中
	ニシユタカ	やや短	淡ベージュ	円	浅	少～中	0.1	0.5	淡黄	中～やや粘	やや否

表3 病虫害抵抗性

品種系統名	ジャガイモ				ジャガイモYウイルス ⁵⁾	
	シストセンチュウ ¹⁾	そうか病 ²⁾	青枯病 ³⁾	疫病 ⁴⁾	0系統	N系統
長系158号	抵抗性	やや弱	弱	弱	抵抗性	抵抗性
ニシユタカ	感受性	弱	やや弱	弱	感受性	感受性

注1), 5) (地独)道総研による判定結果

2), 3), 4) 馬鈴薯研究室における判定結果